

●玉水浜の中聖牛への通路の草刈り実施 9月24日

摂南大学の石田先生がたまりの生き物の調査を実施していただけるので、背丈ほどに伸びた雑草を除去しておこうと呼びかけて作業をしていただきました。既設の通路は何とか刈り取ることができました。問題はワンドまでの通路は本流の水位が高く、随所にたまりができていて腰のあたりまでのもので前進を阻止されました。水位が下がってからでないと調査用通路の確保はできない状況でした。それで第3番(C)のワンドまでの通路を土手際から刈り取ることにしました。ここでは夏草が背丈をはるかに超える高さにまで生育していて困難でした。この日は急遽呼びかけに应邀いただいた篠原さんや寺村さんなど里山農園のお母さんたちが参加してくれてハンマーモアなど自走する除草機の運転に挑戦していただきました。なれない作業でしたが皆さんが意欲的で大いに機械に慣れるようになりたいとおっしゃっていました。頼もしい仲間が誕生したようです。

●Nアカ塾 学習塾始まる 9月24日 京都烏丸四条 京都経済センターで 京都府交響プロジェクト事業が始まりました。この日は全員(11団体・複数参加)が勢ぞろいとのことでしたが5団体の出席でした。講義のあとグループに分かれて自己紹介がありました。南山城村で25年間森づくりに取り組んでこられている職業・僧侶の活動(井戸を掘って水を供給されている)に感動をしました。会議には京都府職員や京都市職員の皆さんが出席されていました。講義に引き続き以下の内容で学習が進みました。

ビジョンとミッションについて 誰でも同じことが語れないとバラバラで多くの人が迷う

寄付者が生まれないし会員を増やせない

ビジョンとは (団体の使命や理念を示したもの: 協力者の共通のしたもの)

ミッションは (ミッションを遂行することで実現する未来社会がビジョンだ)

NP0の最終目的: 円満解散すること 課題解決 目的が達成できた時 継続が目的でない

ビジョン: こんな未来にしたいというイメージを文章化したもの

ミッション: ビジョンに向かって団体が何をしていくのかを知らしめる文章

団体のビジョンは? こんな社会にしたい どうなれば円満解散となるのか

団体のミッションは? 具体的なビジョンの間くらいのものを書こう

そのために ①いまどんな活動にとりくんでいるか ②活動を行っている目的は何か ③ 団体のメインターゲットは何ですか ④目的が達成できれば、どんな未来になりますか(作りたい未来は?)について考えをまとめてみよう 実践的な提起の時間がとられ頭を悩ましました。読者の皆さんも一緒に考えてみてください。問題提起「**自然を大切に作る仲間の輪を大きくする**」はビジョンなのかミッションなのか

●島根県松江市にある国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校からお便りを送らせていただきます。松江高専を流域に含む斐伊川(ひいかわ)は、日本神話のひとつ八岐大蛇伝説で有名な1級河川(木津川も同じく)です。この斐伊川は木津川と同様に砂河川としても有名で、斐伊川を見たときは「木津川と同じだ!」と親近感を持たせてくれました。どちらの河川も砂河川ですが、河川に流出する砂の原因は大きく異なるようです。 続きは次回に...

※※ 用語の説明 ※※ 1級河川は、河川管理者を国土交通大臣(2級水系は都道府県知事、準用河川は市町村長)と定めていますので、里山の会が木津川で実施している除草や中聖牛などでは国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所が窓口となっています。但し、1級河川も延長が長い場合重要度によって区域を分けていまして、国土交通大臣が指定した区間の管理者は都道府県知事が担っています。(小川芳也さんからメールが29日朝に届きました)

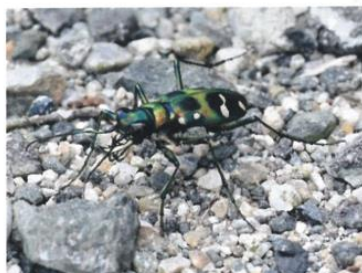


●山城広域振興局企画・連携推進課から令和4年6月28日付けで令和4年度京都府地域交響プロジェクト交付金について1058,000円を交付するとの決定が届きました。引き続いて京都府市町村振興協会からも同額の交付金通知が届くことになります。申請した内容は3年計画として、自然の中で子育て親育てをしよう。近頃は学校教育もパソコン利用が目立ち、家中でスマホやタブレットで過ごす時間が目立ってきている。本来自然の中でわんぱくな子供は育てることが求められている。同時に親も若者もその流れに流され、自然から遠ざけられている。我々里山の会は発足以来「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」を掲げてきたが、今その出番だと考えている。里山農園や木津川の川原・山や川、野原を大いに活用し自然とともに多様な子育てに役立ちたいと考えている。これまでの経験を活かしたい。里山農園の教育施設面をさらに充実させ地域の拠点施設として発展させていく役割を果たしたい。そしてスケジュールとして1親子花見乗船体験、2春の野草を食する会、3青葉の集い出店、4蛍の集い・里山音楽会、5昆虫観察会、6魚とり、7竹蛇簞製作講習会、8カヌー体験、9展示発表会、10しめ縄づくり、11七草摘み、12炭焼き体験、13刈り払い機購入、14周遊通路の実現などを計画しました。各事業が昨年以上に成功しますように皆様のご協力をお願いします。

●乙訓の自然を守る会から会誌がとどきました。参考になるので紹介します。

みちおしえ
「道教え」っていう虫 知ってますか？
それはハンミョウ(斑猫)という虫です。

山道を歩いていると足元から2cmほどの虫が地面すれすれに飛んで、3mほど先に止まります。人が歩むと、これを繰り返すので「道教え」の虫と言われます。乙訓でよく見るのはナミハンミョウ、赤や青の美しい模様があり、宝石のようです。



1, ナミハンミョウ
体長15mm。日本全土の低山の山道に生息。



2, エリザハンミョウ
体長10mm。日本全土の海岸農地など湿ったところに生息。



4, ニワハンミョウ
体長15mm。日本全土の低山の山道に生息。

ハンミョウ関連記事p2とp9に



5, カワラハンミョウ
体長15mm。砂丘や大河川の河原に生息。各地で絶滅するので環境省が絶滅危惧IB指定。

写真1〜4は
下村耕治氏撮影
5は環境省HP



3, コハンミョウ
体長12mm。日本全土の低山、海浜、河原、公園などに生息。



8月10日を「道の日」に制定

1986年建設省が道路整備計画を発表。そのポスターにナミハンミョウの「道教えくん」が登場しています。